

## 2014年度 地方(大阪)スクーリング案内(総合講座)

### 概要

- 科目名 総合講座 ラテンアメリカから世界を考える (2単位)  
\* 同期間に、東京(三田キャンパス)で開催される総合講座とは異なります。
- 担当者 工藤多香子(経済学部准教授)、伏見岳志(商学部准教授)、出岡直也(法学部教授)、  
荒井芳廣(大妻女子大学人間関係学部教授)、田中高(中部大学国際関係学部教授)、  
後藤雄介(早稲田大学教育・総合科学学術院教授)、鈴木茂(東京外国語大学大学院総合国際学  
研究院教授)、柴田佳子(神戸大学国際文化学研究所教授)、狐崎知己(専修大学経済学部教授)
- 履修資格 2014年4月入学の各学部普通課程生を除き、正科生であれば、履修できます。  
\* 教職課程科目等履修生は履修できません。
- 単位について

この総合講座は、スクーリングの年間履修申告上限単位数(『塾生ガイド 2014』p.108参照)とは別に申告できます。総合講座の単位は、スクーリングの卒業所要単位として、所属学部の専門教育科目の修得単位となります。

### ■開講スケジュール

9月26日～12月19日の毎週金曜日 全12回(下記表参照) 18:20～20:05

回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目	11回目	12回目
開講日	9/26	10/3	10/10	10/17	10/24	10/31	11/7	11/14	11/28	12/5	12/12	12/19
担当者	工藤	伏見	伏見	荒井	田中	後藤	工藤	鈴木	柴田	狐崎	出岡	工藤

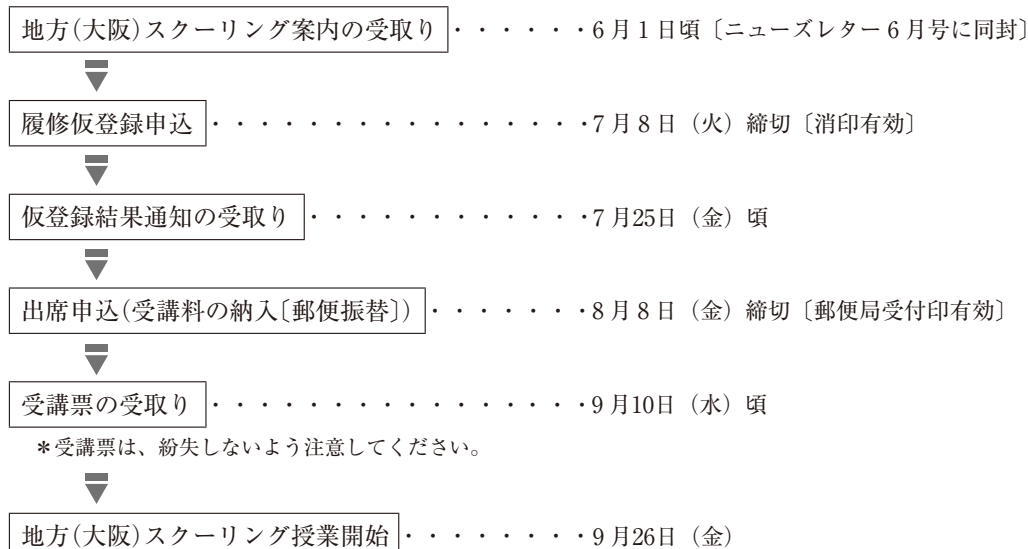
※三田祭期間の11月21日は休講

- 会場 慶應大阪シティキャンパス  
大阪市北区大深町 3-1  
グランフロント大阪 ナレッジキャピタル 北館タワーC 10階  
☎ 06-6359-5547 (当日のみ有効)  
📍 JR「大阪」駅下車徒歩5分、阪急「梅田」駅下車徒歩6分



- 定員 70名
- 受講料 25,000円

### 出席手順手順



## ▶ 1 履修仮登録申込

「総合講座」の履修にあたっては、スクーリング出席申込（受講料の払込）前に、履修仮登録をして許可を受けなければなりません。仮登録の許可を受けられなかった場合、履修することはできません。

また、仮登録の許可を受けた場合でも、出席申込をしなければ受講できませんので注意してください。

\* 申込者が定員を超えた場合、先着順ではなく、抽選で決定します。

### ■履修仮登録申込受付期限

7月8日（火）〔消印有効〕

直接事務局へ持参する場合も、同日の窓口終了時間をもって締め切ります（本室窓口16：30、分室窓口17：00終了）。

慶應大阪シティキャンパスでは受け付けません。

### ■履修仮登録申込方法

本案内添付のがきの該当事項すべてを記入して、郵送してください（コピーは受け付けません）。

## ▶ 2 履修仮登録の結果通知

7月25日（金）頃に許可、不許可の通知をします。その頃までに通知が届かない場合は、通信教育部教務担当宛に必ず連絡してください。

選考結果が「登録不可」（不許可）の場合、備考欄にその理由を表示します（下記表参照）。

選考結果	許可	履修申告をして受講可能	備考		
	登録不可	履修申告できません		定員超過	定員超過による抽選の結果、不許可
				履修資格なし	履修資格がないため不許可

## ▶ 3 出席申込（受講料の払込）

■出席申込（払込）期限 8月8日（金）〔郵便局受付印有効〕

■受講料 25,000円

受講料払込がそのまま「出席申込」となります。必ず指定の振込用紙（仮登録結果通知時に、許可者のみに個別に発送します）で払込をしてください。それ以外の用紙は認めません。

## ▶ 4 受講票の受取り

出席申込の受付が済んだ後、「スクーリング受講票」を発行し、9月10日（水）頃に送付します。

## ▶ 5 入金後の履修取消について

入金後の履修取消には応じられませんので、十分注意してください。

## 講義要綱・テキスト

### ■講義要綱

昨今グローバル化や国際化の拡大が指摘されていますが、そのとき念頭に置かれているのはたいてい欧米各国です。アフリカやラテンアメリカといった地域はいまだに私たちにとって遠い存在で、そこで人々がどのような生活を送っているのかを知ることは稀です。しかし、「グローバル化」はそのような地域と日本とも確実に結びつけています。私たちの日々のなにげない行動が、ラテンアメリカの村の生活に大きな影響を与えているかもしれません。ラテンアメリカのある国の経験が、日本や世界の将来を考える大きなヒントにもなります。本講座では、ラテンアメリカ諸国のさまざまな側面がそれぞれの専門家によって講義されます。この講座によって、ラテンアメリカが遠く離れた日本に住む私たちにもけっして無縁ではない地域として理解され、より広い視野で世界情勢や日本の諸問題を考えるきっかけとなることを期待します。

## 〈1回目〉9月26日 「ガイダンス」

担当者: 工藤多香子(慶應義塾大学経済学部准教授)

この講座の趣旨や特色、そして講義の進め方を説明します。また、各国の講義に進む前のイントロダクションとしてラテンアメリカという地域概念について概論をお話します。

## 〈2回目〉10月3日「メキシコの今(1)」

## 〈3回目〉10月10日「メキシコの今(2)」

担当者: 伏見岳志(慶應義塾大学商学部准教授)

メキシコは、人口でも経済規模でも、ラテンアメリカのなかではブラジルに次ぐ大国です。2回の講義では、そうしたメキシコの現在の姿を、(1)この国が抱える歴史的な条件と、(2)現在の世界における位置づけのふたつの側面から探っていきます。

## 〈4回目〉10月17日「ハイチにおけるフェミニズムの誕生と展開」

担当者: 荒井芳廣(大妻女子大学人間関係学部教授)

ハイチにおけるフェミニズムはデュバリエ独裁体制下で始まりましたが、独裁体制崩壊後も女性に対する社会的差別や性的虐待への告発と女性の政治的社会的地位の向上を目指し、政治的な民主主義運動とは一線を画しながら発展しています。その展開には国外に移住したハイチ人女性たちも重要な役割を果たしています。講義ではその独特な足跡を辿ります。

## 〈5回目〉10月24日「内戦後のエルサルバドルとニカラグア」

担当者: 田中高(中部大学国際関係学部教授)

北米大陸と南米大陸をクサビのようにつなぐのが、中米地峡です。北からグアテマラ、ホンジュラス、エルサルバドル、ニカラグア、コスタリカ、パナマの6か国があります。本講義では、内戦後のエルサルバドルとニカラグアの様子を、映像資料も使いながら紹介します。

## 〈6回目〉10月31日「現代のペルー」

担当者: 後藤雄介(早稲田大学教育・総合科学学術院教授)

南米ペルーといえば、インカ帝国を代表とする諸文明の興亡を抱えてきたアンデスのイメージが圧倒的でしょう。しかしながら、現代のペルーは首都リマ圏に人口の3分の1以上が集中しているというのが現実です。本講義では、近代と伝統の習合が織りなす現代ペルー史を、ある作家の軌跡をたどることで描き出します。

## 〈7回目〉11月7日「人種なき社会の人種差別」

担当者: 工藤多香子

革命後のキューバ社会ではすでに無くなったとされてきた人種差別が、1990年代以降、再び社会問題として取り沙汰されるようになりました。近年のキューバで見られる人種差別をめぐる諸議論を通して、人種や民族、そしてレイシズムについて考えていきます。

## 〈8回目〉11月14日「ブラジルにおける人種と社会」

担当者: 鈴木茂(東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授)

経済発展の著しい新興国として、また2014年にはサッカー・ワールドカップ、2016年にはオリンピックの開催地として、今ブラジルは世界の注目を浴びています。本講義では、移民国家として成長してきたブラジルの、多人種・多民族が複雑に絡み合う歴史を紐解いていきます。

## 〈9回目〉11月28日「英語圏カリブ海社会」

担当者: 柴田佳子(神戸大学国際文化学研究所教授)

異質で多様な人種・民族が海外から/へ移動、定着し、接触や混融合を繰返し、往還やトランスナショナル・ネットワークの形成もしてきたカリブ海社会。その特徴をディアスポラとクレオールという側面から、ジャマイカやガイアナなどの事例をもとに検討します。

## 〈10回目〉12月5日「中米諸国の人間の安全保障」

担当者: 狐崎知己(専修大学経済学部教授)

気候変動による大規模な自然災害、感染症、急増する組織犯罪など人々の日常的な暮らしを脅かす要因を明らかにし、その予防策と対応策を論じます。

## <11回目>12月12日「アルゼンチンの政治」

担当者:出岡直也(慶應義塾大学法学部教授)

アルゼンチンは、かなり豊かだったにもかかわらずの民主主義の失敗、非常に抑圧的な軍事政権の経験、そして、経済的な不安定など、政治経済一般や日本のことを考えるために重要な考察材料を提出している国です。本講義では、暮らしや文化の紹介も交えつつ、そうしたことを話していきます。

## <12回目>12月19日「まとめと試験」

担当者:工藤多香子

全体を簡単に振り返ったあと、授業時間内に試験を行います。

### ■テキスト

指定しません。

### ■参考文献

高橋均、網野徹哉著『世界の歴史18 ラテンアメリカ文明の興亡』(中公文庫、2009年)

恒川恵市著『比較政治—中南米』(放送大学教育振興会、2008年)

その他、授業内で適宜指示します。

## 2014年度 地方(大阪)スクーリング(総合講座)仮登録申込書

申込期限：7月8日(火) 消印有効

※履修仮登録申込期限を守り、早めに投函してください。

※夜間スクーリングの履修仮登録申込用封筒には同封しないてください。

太枠内を黒または青のボールペンで記入してください。

学籍番号										
氏名										
住所	〒									
電話番号	内線									
Eメール アドレス										

\*1 履修仮登録を許可された場合、出席申込できます。

\*2 申込資格は本案内を参照してください。

\*3 電話番号は平日(月～金)8:30から17:00までの連絡先電話番号(携帯電話等)を記入してください。

## 地方(大阪)スクーリング(総合講座)

履修の希望「有」を○で囲んでください。

履修の希望

1. 有

## 試験・成績

### ▶ 1 試験日時

試験は12月19日（金）の授業時間内に行います。

### ▶ 2 成績評価方法

出席および試験により評価を行います。

### ▶ 3 成績通知

2月上旬以降に送付します。通知発送状況は、通信教育課程のWebサイト上で確認できます。

## その他

- ▶ 休講、補講がある場合は、通信教育課程のWebサイト上でお知らせしますので注意してください。また、台風・大雨・地震等の各種自然災害やその他緊急事態の発生により、休講措置をとらざるを得ない場合も当通信教育課程のトップページを通じてお知らせします。  
<http://www.tsushin.keio.ac.jp/>
- ▶ 地方（大阪）スクーリング出席者には、ITCの「情報ネットワークアカウント」の発行は行いません。また、スクーリング期間内にメディアセンターで図書の貸出サービスを受けることはできません。
- ▶ 慶應大阪シティキャンパスでは、レポート用紙等の販売は行いません。

362円切手を  
貼ってください

簡易書留

郵便はがき

1080073

東京都港区三田2-19-30  
慶應義塾大学通信教育部  
事務局分室 地方（大阪）スクーリング仮登録係

郵便引受番号

東京都港区三田2-19-30

## 問合せ先

---

講義内容について	教務担当（本室）	TEL：03-5427-1589 E-mail:kyomu@tsushin.keio.ac.jp
申込手續について	登録担当（分室）	TEL：03-3454-0776

\* 電話による問合せ受付時間

●本室 月～金曜日（祝日を除く） 8：30～11：30／12：30～17：00

（夏期スクーリング期間中は、土日も含め、8：30～11：20／12：20～17：00に問合せに応じます）

●分室 月～金曜日（祝日を除く） 9：00～17：00

\* 本室・分室間の電話転送はできません。

\* 夏期スクーリング日吉期間中（8/5～8/18）も上表の電話番号（直通）にお問い合わせください。

ただし、8/4、8/19（事務局本室移転日）、8/12、8/26（事務局本室・分室臨時窓口閉室）は問合せに応じられません。